

令和3（2021）年度 【地理B1】

68 新潟県立高田南城高等学校（通信制）

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
4	選択必履修	12	4	2
教科書		学習書・他教材		
地B 304 新詳地理B（帝国書院）		地図 310 新詳高等地図（帝国書院）		
学 習 目 標				
1. 世界や日本の自然的・人文的な特徴の理解と地理的な認識の育成				
2. 教科書や新聞などを通じ、自分の住む地域の特徴と課題を把握する能力の育成				
学 習 計 画				
学習項目	学習内容			試験範囲
第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査 第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2章 資源と産業 3章 人口、村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教	現代世界の地図・地図の種類とその利用・地理情報の地図化 世界の地形・世界の気候・日本の自然の特徴と人々の生活・環境問題 産業の発達と変化・世界の農林水産業・食料問題・世界のエネルギー・ 鉱産資源・資源・エネルギー問題・世界の工業・第3次産業・ 世界を結ぶ交通・通信・現代世界の貿易と経済圏 世界の人口・人口問題・村落と都市・都市・居住問題			前期試験
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域	生活文化・民族と宗教・現代の国家・民族・領土問題 地域区分 地誌の考察方法・東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア・ 中央アジア・北アフリカ・サハラ以南のアフリカ・ヨーロッパ・ ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニア			後期試験

評価規準と評価方法

評価は、次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
人間の生活は、地理的事象の影響を受けている点に関心を持っている。スクーリングとレポートの取り組みに対して積極的である。	世界の問題が、身近な問題に深く影響していることを理解できる。その経緯や解決方法を適切に表現できる。	調べたことを、地理的な技能を使い、まとめられる。	高校生としての最低限の基礎知識を身に付けている。さまざまな地理的事象の中に人間が生きていることを理解している。
スクーリング出席回数・態度・レポートの期限厳守	レポート・新聞課題	定期考査・レポートの作業	定期考査

授業の進め方・課題・提出物など

- ・スクーリングには、教科書と地図帳を用意して受けてください。
- ・レポートの提出期限が遅れたものはレポート点が大幅に減点されます。
- ・10月に地理巡検を行いますので、なるべく参加してください。

担当者からのメッセージ

- ・日頃から新聞に目を通すようにしましょう。学習室に新聞がありますので利用してください。
- ・ニュースや新聞で知らない地名がでてきたら、地図帳で確認する習慣をつけましょう。
- ・スクーリングはチャイムと同時に始まりますので、教材を用意して着席しててください。遅刻は他人の迷惑になりますので遅れないようにしてください。